

平成21年度(2009)

# 安全報告書



〔 蔵王温泉スキー場：樹氷原コース、ユートピア・百万人・  
黒姫・横倉・大森ゲレンデ 〕

## 普通索道

複線交走式：蔵王ロープウェイ山麓線（通年運転）

複式単線自動循環式：蔵王ロープウェイ山頂線（通年運転）

## 特殊索道

単線固定循環式：横倉第1A・Bペア・横倉第2ペア・アストリア第1ペア・  
アストリア第2ペア・アストリア第3ペア・ユートピア第1  
ペア（通年運転）・ユートピア第2ペアリフト

単線自動循環式：大森クワトロ・黒姫第1クワトロ・黒姫第2クワトロリフト

蔵王ロープウェイ株式会社

## ごあいさつ

日頃は蔵王温泉スキー場をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当スキー場における索道事業は、弊社のほか6社の事業者によって運営されております。スキーやスノーボードのお客様に対しては、蔵王全山を自由に滑走できるスキー場内の移動手段として、また大自然の造形・神秘的な「樹氷」を観賞するお客様に対しては、樹氷地帯への交通手段として、索道（ロープウェイ・リフト）の安全な運転を提供しております。

またグリーン期（夏季）においても、トレッキングや俯瞰見物のため、ロープウェイや夏山リフトの営業運転を行っており、「お釜」や「いろは沼・観松平」などへの“足”としてご利用いただいております。

索道事業の経営基盤は勿論、「安全第一」であります。運転の取扱い、保守整備などにおけるコンプライアンス（法令遵守）を徹底し、お客様の安全確保はもとより、快適に、そしてご満足いただけるよう、索道の運転には万全を期しておるところであります。

本年度は、輸送の安全確保を期すため、人材の教育・養成、機械設備の整備・工事、応急下降や予備原動機取扱いを中心とした各種訓練を実施するとともに内部監査の充実を図りました。また9月の国土交通省東北運輸局鉄道部による『運輸安全マネジメント評価』では一定の評価を受けましたが、今後の課題等も明確になりましたので、それらを克服して更に強固な安全管理体制の構築に向け努力いたす所存でございます。

本報告書は、平成21年度の1年間の安全に対する施策や実態などをまとめたものであり、皆様にご理解をいただきたいところであります。そして、自らの取組みに不足する部分がないかなどを検証し、「改善すべきは改善する」ことを念頭に、ここに公表する次第であります。皆様からのご意見やご要望等を頂戴できますれば幸甚に存じます。

なお、弊社は平成22年2月1日にグループ企業でありました林友観光株式会社および蔵王リゾート株式会社を吸収合併し、新生蔵王ロープウェイ株式会社としてスタートいたしました。これまで以上に安全・安心な信頼される企業を目指して参りますので、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



蔵王ロープウェイ株式会社  
取締役社長 大久保 靖彦

## 目 次

- 1 安全基本方針と重点目標
  - (1) 安全基本方針
  - (2) 重点目標
  
- 2 事故等の発生状況（平成 21 年度）
  - (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）
  - (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）
  - (3) インシデント（事故の兆候）
  
- 3 輸送の安全確保のための取組み
  - (1) 人材教育
  - (2) 応急下降訓練
  - (3) 安全確保のための諸施策
  - (4) 安全に係る内部監査の実施
  
- 4 当社の安全管理体制
  
- 5 利用者の皆様へ
  - (1) 「ニコニコキャンペーン」の展開
  - (2) ロープウェイ乗車の整理券発行について
  - (3) 「横倉のカベ（38°）」に挑戦してみませんか！？
  - (4) アトラクションコース「なんちゃってスノーパーク」の設営
  
- 6 お問い合わせ先

## 1 安全基本方針と重点目標

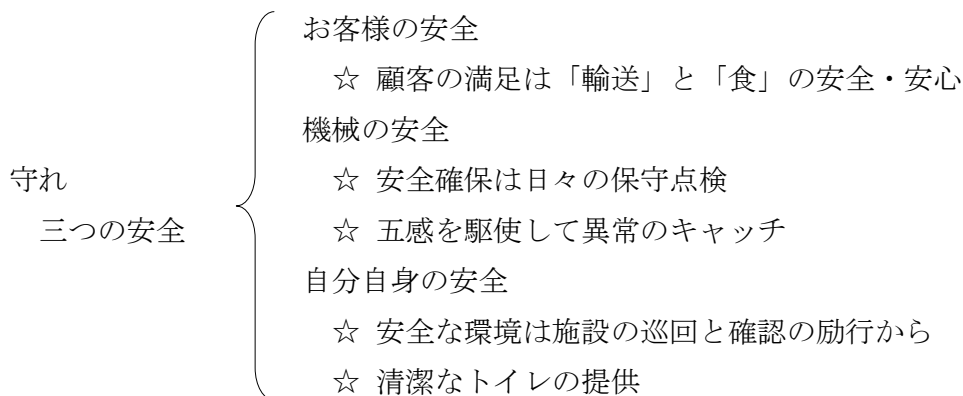
### (1) 安全基本方針（当社「安全管理規定」第2条）

当社の経営理念の第一は、安全を最優先とし、社会やお客様から「信頼される蔵王ロープウェイ」の構築であります。社長、役員および職員（職員に準ずる者を含む）は、次の安全基本方針に則り、輸送の安全確保を図っております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を把握するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、臆測せず確認の励行に努め、疑義のあるときは上司の判断を仰ぎ、適切に処理します。
- ⑤ 事故・災害等の発生時は、旅客の安全を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく正確、迅速に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 輸送の安全に関する技術、知識等は進んで取り入れ、研鑽に努めます。

### (2) 重点目標

2009～2010 スノーシーズンにおける重点目標は次のとおりでありましたが、グリーン期においても引き続き目標達成に向け周知・徹底を図り、輸送の安全確保を図ります。



## 2 事故等の発生状況（平成 21 年度）

### (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成 21 年度における索道運転事故はありませんでした。引き続き運転事故防止に努めます。

### (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

平成 21 年度における災害による運転停止はありませんでした。

なお強風や雷による安全確保のため、下記のとおり運行の一時見合わせを行っております。

索道名	日数	延べ時間
蔵王ロープウェイ山麓線	17日	53時間21分
蔵王ロープウェイ山頂線	21日	84時間55分
横倉第1ABペアリフト	3日	7時間15分
横倉第2ペアリフト	8日	23時間05分
アストリア第1ペアリフト	1日	1時間30分
アストリア第2ペアリフト	2日	1時間10分
アストリア第3ペアリフト	8日	30時間50分
ユートピア第1ペアリフト	15日	48時間15分
ユートピア第2ペアリフト	8日	28時間45分
大森クワトロリフト	3日	5時間45分
黒姫第1クワトロリフト	7日	29時間25分
黒姫第2クワトロリフト	4日	9時間30分

### (3) インシデント（事故の兆候）

平成21年度における国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。  
引き続き事故防止に努めます。

## 3 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のため、安全に関する社内の教育や東北索道協会主催等社外の研修にも積極的に参加して索道技術の向上や知識の習得に努めています。

平成21年度に実施または受講した主な教育等は次のとおりです。

研修・講習会名	主催	実施月日	人員(名)
テクニカルセミナー	日本ケーブル(株)	6/10～12	1
低圧電気取扱い業務に係る特別講習	(社)山形労働基準協会	6/18・19	1
応急手当(AED使用法・心肺蘇生法)講習会	社内(講師:蔵王消防所員)	7/8・10・13	77
索道技術研修会	東北索道協会	7/13・14	4
ピステンブーリーテクニカルセミナー	スノーシステムズ(株)	7/28・29	2
索道技術管理員等講習会	東北索道協会	9/1・2	1
危険物取扱者保安講習会	(社)山形労働基準協会	9/15	1
索道技術管理者研修会	東北索道協会	9/17	3
管理・監督者・リーダー研修会	東北索道協会山形地区部会	11/9	7
雪上車運転及びスキーパトロール(救急法)講習	東北索道協会山形地区部会	11/25・26	3

研修・講習会名	主催	実施月日	人員(名)
玉掛け技能講習会	(社)山形労働基準協会	1/12~14 3/15~17	2

## (2) 応急下降訓練

毎年、スノーシーズン（普通索道においてはグリーンシーズンを含む）営業開始前に職員一同にて応急下降訓練（緊急時の救助訓練）等を実施しております。

平成21年度に実施した応急下降訓練等は次のとおりです。

実施個所・訓練内容	実施月日	人員(名)
ロープウェイ山麓線 応急下降訓練	4/27	4
ロープウェイ山麓線 応急下降訓練	5/20	16
ロープウェイ山麓線 予備原動機取扱い訓練		10
ロープウェイ山頂線 予備原動機取扱い訓練		41
ロープウェイ山麓線 応急下降訓練	11/22	5
ロープウェイ山麓線 応急下降訓練	12/16	9
ロープウェイ山麓線 予備原動機取扱い訓練		7
ロープウェイ山頂線 応急下降訓練		44
ロープウェイ山頂線 予備原動機取扱い訓練		26
ペアリフト応急下降訓練		52
クワトロリフト応急下降・予備原動機取扱い訓練		22

ロープウェイ山麓線 応急下降・予備原動機取扱い訓練



ロープウェイ山頂線 応急下降・予備原動機取扱い訓練



ペアリフト応急下降訓練



クワトロリフト応急下降・予備原動機取扱い訓練



(3) 安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため整備や工事等を実施しております。  
平成 21 年度に実施した主な整備・工事等は次のとおりです。

索道名	整備・工事件名	竣工
ロープウェイ山麓線	原動滑車軸受交換工事	5月
	搬器床下点検および補修工事	5月
	搬器走行輪交換	5月
ロープウェイ山頂線	機器点検（1年検査）	5月
	搬器握索機分解整備	6月
横倉第1ABペアリフト	A線電動機分解整備	8月
ユートピア第1ペアリフト	支えい索交換工事	9月
アストリア第2ペアリフト	支えい索交換工事	10月
大森クワトロリフト	制動機・フード開閉油圧ユニット分解整備	9月
黒姫第1クワトロリフト	パルス発信器分解整備	10月
黒姫第2クワトロリフト	搬器握索機分解整備	9月
	終端緊張滑車軸分解整備	8月
	油圧緊張ユニット代替購入設置	8月

(4) 安全に係る内部監査の実施

当社では、安全マネジメント態勢が適切に確立・実施・維持され機能していることを確認するため内部監査を実施し、課題等に関しては速やかに是正・改善処置を行っております。

平成 21 年度に実施した内部監査は次のとおりです。

現業部門施設検査（普通・特殊索道） 8/ 6 実施  
現業部門施設検査（特殊索道） 12/12 実施

内部監査 (8/6)



内部監査 (12/12)



## 内部監査 (12/12)



### 平成 22 年度 内部監査実施予定

経営トップインタビュー	10/上旬 実施予定
経営管理部門書類検査	10/上旬 実施予定
現業部門書類検査	10/上旬 実施予定
現業部門施設検査	7/中旬・12/中旬 実施予定

平成 21 年度は 9 月に国土交通省 東北運輸局 鉄道部による『運輸安全マネジメント評価』を受けました。

- ① 経営トップがリーダーシップを発揮し、安全管理体制の維持・向上に向けて主体的に関与していること
- ② 経営トップが現場巡回等を通じて、現場とのコミュニケーションの確保を図っていること
- ③ 内部監査手順書の策定とそれに基づいた内部監査を実施していること  
について一定の評価を受けました。

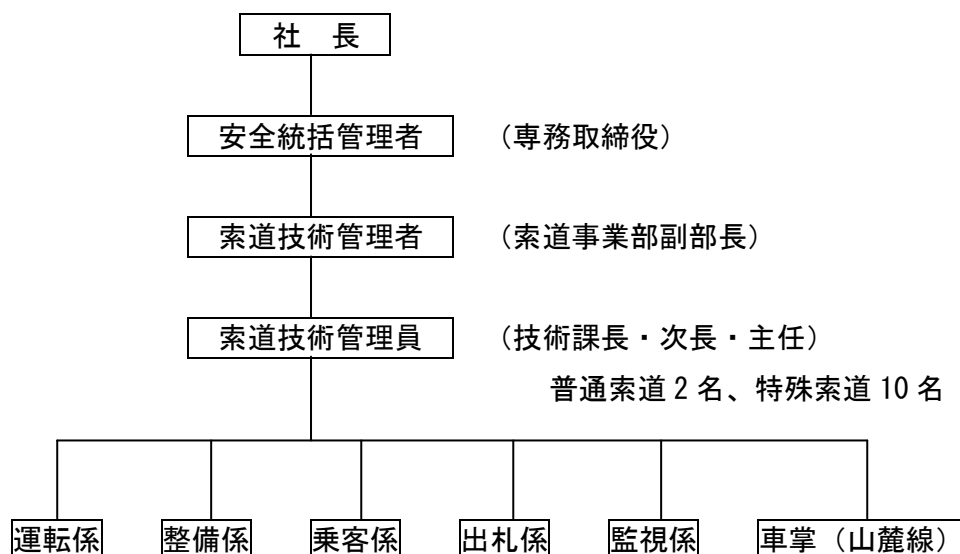
一方、「更なる取り組みを期待する」として、

- ① 経営トップのリーダーシップとコミットメントの継続
- ② 重大事故を想定した訓練の実施
- ③ 内部監査等を活用した安全管理体制の見直し及び改善の方法の確立  
について助言を受けましたので、今後とも安全管理体制を万全なものとするため経営者・従業員が一丸となりこれに取り組んでまいります。

#### 4 当社の安全管理体制（当社「安全管理規定」第 3 条、第 4 条）

当社は、索道事業における安全確保のため社長を最終的な責任者とし、安全統括管理者、索道技術管理者および索道技術管理員の有資格者を配置して役割と責任および権限を明確にした管理体制を確立しております。

有資格者の役割・責任・権限は次のとおりです。



社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する。

## 5 利用者の皆様へ

### (1) 「ニコニコキャンペーン」の展開

当社は、ご利用のお客様の安全を最優先に、そしてご満足していただけるようスキーシーズンのみならず年間を通してこのキャンペーン“もてなしの心での一声運動”を展開しております。お気づきの点がございましたら、何なりとお申し付けください。

① 明るい心で	『いらっしやいませ』
② 素直な心で	『はい』
③ 積極的な姿勢で	『どうぞ』
④ 反省の態度で	『申し訳ございません』
⑤ 謙虚な心で	『お待たせいたしました』
⑥ 感謝の心で	『ありがとうございました』
⑦ お客様の状態	『どうなさいましたか』

## (2) ロープウェイ乗車の整理券発行について

冬季における多客時にロープウェイご利用のお客様に対し、乗車整理券を発行して混雑時の乗車制限をさせていただきました。

これは、乗車定員の厳守による安全確保のためであるとともに、お待ちいただくお客様に時間の有効活用をしていただくためでもあります。

上記趣旨をご理解いただき、今後とも混雑時の乗車整理券発行によるご乗車に対し、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## (3) 「横倉のカベ (38°)」に挑戦してみませんか！？



当社は、蔵王温泉スキー場でも名所・難所となっている勾配38°の「横倉のカベ」に隣接するアストリア第2ペアリフトを有しております。腕に自信のあるスキーヤーやボーダーの方、一度挑戦してみませんか！？

リフトの整備には万全を期して、皆様のご乗車をお待ちしております。

## (4) アトラクションコース「なんちゃってスノーパーク」の設営



ビギナー、ファミリースキーヤー・スノーボーダーの皆様のために、横倉ゲレンデに「なんちゃってクロス」、大森ゲレンデに「なんちゃってアスレチック」を造成し、ご好評をいただきました。

来シーズンも安全で楽しいスノーパークの設営を予定しております。

## 6 お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等へのご意見・ご要望その他お気付きの点がありましたら、下記にご連絡ください。

平成22年4月10日

〒990-2301

山形市蔵王温泉229

**蔵王ロープウェイ株式会社**

総務部 TEL 023-693-0789

FAX 023-693-0790

蔵王山麓駅 TEL 023-694-9518

FAX 023-694-9143